

# 第2学年 国語科「そうだんにのってください」

◆本時の指導（第1時／全7時間）



## (1)本時の目標

学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話し合いに取り組もうとすることができる。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	<p>1 教材名を読んで、学ぶことを想像する。</p> <p>2 単元のめあてを設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで話をつなげることを学んでいくための学習の仕方を確かめさせる。</li> <li>相談を出し合い、友達の相談を聞いて考えを出し合わせる。</li> </ul>
	<p>&lt;単元のめあて&gt; 友だちのそうだんごとを聞いて、考えを出し合おう。</p>	
展開	<p>3 教材を読み、大体の学習の流れを確かめる。</p> <p>4 相談したい話題について、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間にどんなことをして遊ぼうかな。（これからすること）</li> <li>勉強のことを相談したいな。（学習のこと）</li> <li>ボールをうまく投げられないから聞いてみたい。（苦手なこと）</li> <li>家族の誕生日プレゼントをどちらにしようか迷っている。（悩んでいること）</li> <li>CUPS（※）の動きがよくわからないから、練習の仕方を聞いてみたいな。（困っていること）</li> </ul> <p>※ プラスティックカップでリズムを刻む遊び</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>困ったことがあったときにどのようにして解決しているかを思い出させる。</li> <li>必ず解決させることが重要なのではなく話し合っ解決を図ろうとすることが重要になることを理解させておく。</li> <li>学習用語「話題」についてP164を参照させて確認する。</li> <li>マッピングなどで考えを広げることができるようにさせる。</li> <li>話題について、家族のことや地域のことなど話題が多岐に広がるのが考えられるため、プライバシーに関わる話が出ないように注意して、話題を決めていくことを確かめておく。</li> <li>話題が思いつかない児童には、もっとできるようになりたいことやできなくて困っていることを個別に問いかける。</li> </ul> <p>◇学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話し合いに取り組もうとしている。（発言・ワークシート）</p> <p>★自分自身の生活を振り返ったり、友達の意見を参考にしたりして、どのような課題があるかを見つけることができる。</p>
まとめ	<p>5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談する話題について、自由に考える時間をもたせる。</li> <li>次時に相談する話題を決めるため、考えられる話題をたくさん書き出させる。</li> </ul>



## ◆ 成果と課題

### 【成果】

友達の意見を参考にすることで、課題を見つけるときのポイントを把握できた。自分自身を振り返っても相談したい話題をなかなか見つけることのできない児童にとって、学級全体でマッピングしながら振り返り、考えを広げていくことは効果的であり、自信をもって活動に取り組むことができた。

### 【課題】

考えが広がりすぎてまとめられない児童のために、広がった考えを集約していく時間を作る必要がある。

# 第2学年 算数科


## 「さんかくやしかくの形をしらべよう」

◆本時の指導（第5時／全10時間）   

### (1) 本時の目標

長方形を構成要素に着目して見ることを通して、長方形の意味や性質を理解する。

### (2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 グループで不定形の紙を折り、四角形ができたことを確認する。 2 問題を捉える。	・前時で直角を作った時と同じように、きちんと合わせることを、折り目をつけることを助言する。
	紙を折ってできた四角形のかどの形をしらべよう。	
展開	3 四角形の4つの角の形を調べ、全て直角であることを確認する。 4 用語「長方形」を知り、定義をまとめる。 5 めあてを捉え、長方形の向かい合っている辺の長さを調べる。	・グループの四角形の4つの角が直角になっていることを確認させ、大きさや形が異なっても角が直角になっていることを捉えさせる。 ・四角形の大きさや置かれた向きに関わらず、全て長方形であることを確認する。 ・グループでの話し合いにおいて、付箋を使って考えを伝え、自分の考えを深める。
	長方形のとくちょうをしらべよう。	
まとめ	6 長方形の性質をまとめる。	・さまざまな長方形を配り、四角形の大きさや置かれた向きに関わらず長方形であることを確認しながら、特徴を見つけさせる。 ★友達の長方形と自分の長方形を比べながら、長方形の意味や性質を見だし、説明している。 
	長方形の向かい合っているへんの長さは同じ。	◇図形の置かれた位置に関係なく、長方形の意味や性質を見だし、説明している。(観察・記述) ◇長方形は4つのかどが直角になっている四角形で、対辺の長さが等しいことを理解している。(観察・記述)

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

本時の展開において、児童一人一人に異なる長方形を配付した。それにより、児童同士で長方形を見比べながら長方形の辺の長さを測る活動を行い、積極的な交流が図れた。図形は上級学年でも取り扱うため、本時の内容の定着に努めたい。

### 【課題】

まだ長さを測ることが定着していない児童にとってはレベルが高かったため、指導の手だてが必要であった。長さを測らなくても、紙を重ねて長さを比べたり、半分に折って調べたり様々な方法を引き出すなど、自力解決に多様な意見が出るとよかった。

# 第2学年 音楽科「おまつりの音楽」

◆本時の指導（第1時／全2時間）



## (1)本時の目標

“太鼓のリズム”を基に間奏のリズムをつくろう。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	<p>1 「村まつり」を歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1番から3番まで、歌詞から情景を思い浮かべながら歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の中に出てくる楽器の音を表す言葉を意識し、動作をつけながら歌うようにする。</li> </ul>
展開	<p>2 いろいろな太鼓の音を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おまつりで使われている太鼓の写真を見たり、音を聴いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長胴太鼓、締め太鼓の演奏動画を見て、日本の太鼓に興味をもてるようにする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     歌と歌を太鼓のリズムでつなげよう。                 </div>	
	<p>3 “太鼓のリズム”のリズムカードを見ながら手拍子する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5つのリズムカードを見ながら全員で手拍子する。</li> <li>5つのリズムカードを組み合わせて4小節のリズムをつくる。</li> <li>つくったリズムを全員で手拍子する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が前で一緒に手拍子し、全員が手拍子できるように支援する。</li> <li>5種類のリズムカードを2枚ずつ用意し、いろいろな組み合わせが試せるようにする。</li> <li>リズムカードには「ドン」や「ウン」などの言葉も明記し、言いながら手拍子するようにする。</li> </ul> <p>★リズムカードを手がかりにして、4小節のリズムをつくる。 </p>
<p>4 歌と歌の間でつくったリズムを手拍子でつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌のグループと手拍子のグループに分けて合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初はクラスを半々に分けて行い、徐々に人数を減らしながら、聴き合えるようにする。</li> </ul> <p>◇太鼓のリズムを基に音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に取り組もうとしている。（行動観察）</p>	
まとめ	<p>5 次時は、つくったリズムを太鼓で演奏することを知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校にある締め太鼓を紹介し、次時への期待を高めるようにする。</li> </ul>

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

“太鼓のリズム”を5種類（2枚ずつ）用意し、それを置き換えながらつなげ方を考えたり修正したりできるようにしたことで、全員がつくる活動に主体的に取り組めた。

### 【課題】

リズムカードを見ながら、手拍子ができるようになっていれば自分でリズムをつくれるようになる。そのためにもリズム活動を常時活動などで取り入れていく必要がある。